



## 修了証を渡しました

文責 竹田 圭志

3月2日から突然始まった臨時休業のため、1・2年生は授業はもちろん、卒業式にも参列できず、本日予定されていた修了式も見送られることになりました。本日、担任の先生が修了証（通知表）を生徒個々に渡しました。ただ、節目となる行事に参加できないことで、これから「進級する（学年が上がる）」という実感がつかめない、何となくもやもやした気持ちの生徒の皆さんが多いのではないのでしょうか。

3年生が抜けたことによって広く感じる体育館で、寂しさを感じながらも、改めて上級生になるんだという覚悟と決意を固める修了式。掲示物が取り除かれた殺風景な教室での最後の学活。修了証を受け取り、1年間を振り返りながら担任の先生の「思い」を聞く。そんな「当たり前のこと」を生徒と共有できないことに、先生方も寂しさやもどかしさを感じています。学級通信や学年通信を通して、先生方個々の「思い」を子供たちに伝えようとしてくれているようです。ぜひ、ご家庭でも一読していただき、お子さんと「節目」「進級」のイメージを膨らませていただければ幸いです。

この1年間で、生徒たちはひとまわりもふたまわりも成長してくれました。いろいろな場面で「自分のカラー」を出せるようになってきました。いろいろな色をグチャグチャに混ぜると最終的に黒になりますが、今の榊台は、いろいろな色がほどよく混ざり合った、マーブル模様の絶妙なバランスの色彩だと感じます。とはいえ、それは3年生に頼る部分が大きかったと思います。頼りにしていた3年生が抜けた今、1・2年生が気持ちを新たに、学校をより良い方向に導いてくれることに期待しています。

明日からの春休み、感染拡大防止のため部活動の許可は下りていません。暖かくなって、子供たちも思う存分に練習や活動に打ち込みたいところだと思いますが、もうしばらく我慢となります。新学期から心機一転、一つ上のステージに立つためにも、明日から4月8日の始業式までの12日間を有意義に過ごしてほしいと思います。引き続き、ご家庭でのご協力をお願い致します。

## 保護者・地域の皆様へ

この1年間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。行き届かぬ点も少なからずあったとは思いますが、お陰様で皆様のご支援により、本日、令和元年度の教育課程修了を迎えられました。教職員一同、謹んで御礼申し上げます。坂内会長を中心としたPTAの組織的な活動には、皆様の固い結束に甘えてばかりだったことを申し訳なく感じております。また、学校応援団や区長、民生・児童委員の皆様をはじめとした、地域の皆様のご協力にも感謝申し上げます。来年度も、引き続きよろしく願いいたします。

## 今後の予定

4月8日（水）の「入学式」は、現時点では、縮小した形（新入生、教職員、保護者1名、生徒会長の「歓迎の言葉」、来賓は町代表や町議員のみ、歌は全てBGM）で実施する予定です。

同日2・3年生の参加する「始業式」は、どんな形式で実施するか現時点では決まっていません。後日、連絡メールや電話連絡等でお伝えしますのでご確認ください。

## 忘れられない卒業式になりました

3月14日（土）は、限られた時間の中でという制限もあり、縮小で開催された卒業式でした。

はかま姿の齋藤晋也先生を先頭に前方扉から入場する卒業生を、目の前で迎え入れたこと。

担任の齋藤晋也先生が卒業生全員の氏名を呼び、しっかりとした返事が聞けたこと。

一人一人と目を合わせながら卒業証書を手渡せたこと。

短いなりに、お祝いと感謝のメッセージを伝えられたこと。

ぶっつけ本番でしたが、生徒会長の畑中さん、副会長の山田くんが、平山さんのピアノ演奏をBGMに「卒業生別れの言葉」を堂々と語ってくれたこと。

3年生を送る会用に3年生が作成した動画を卒業生と一緒に見ることができたこと。

各家庭一人であったとしても保護者の皆さんと一緒に卒業を祝福できたこと。

先生たちが心を込めて準備した会場で式を挙げられたこと。

そして、なんとといっても、卒業生32名がみんな元気にそろって参列してくれたこと。

「普段あるべきものがなかった」ことだらけの卒業式でしたが、一方では、「普段なかったものがあつた」ことも少なくなかつた卒業式でした。きっと、多くの人たちの心にいつまでも残る、「忘れられない卒業式」だったと思います。改めて、卒業生の皆さん、おめでとうございます。

1・2年生の皆さんには、写真でしかお伝え出来ませんが、立派に巣立っていった先輩たちに盛大な拍手をお願いします。町ホームページでカラー版を見ることができます。

